

# きぼうのいえ ニュースレター



## 2011年 春号

特定非営利活動法人 きぼうのいえ  
〒111-0022 東京都台東区清川2丁目29番12号

電話：03-3875-7523 Fax：03-3875-7525  
E-Mail：kibounoie777@mbm.nifty.com  
ホームページ：http://www.kibounoie.info

### 先に旅立った方達への感謝をこめて

ソーシャルワーカー 遠藤紀子



2010年は、16人の入居者の方をお見送りさせていただきました。16人の方のうち、長い方で6年間、最も短い方は3日間の入所期間でした。きぼうのいえで過ごした時間や、それぞれの方が生きてきた時間の長さには違いはありますが、お一人おひとりの人生の重さには変わりはありません。人は「生きてきたように死んでいく。」と言われますが、入居者の方の死に逝く姿を見ていると、その方が、これまでどのような生き方をされてきたのかを垣間見ることがあります。Aさんは、かなりの痛みがありながら、苦痛を訴えたことがありませんでした。こちらが推し量らないと、Aさんが抱える痛みを共有することはできませんでした。Bさんは、食事の前に何かお経のようなものを唱える方でしたが、食事ができなくなると同時にこの世から旅立たれました。Bさんの信仰について伺ったことはありませんでしたが、唱えていたお経が、Bさんの人生にどのような意味を与えていたのか、今となっては想像するしかありません。Cさんには、時々差し入れを持って来て下さるお友だちがいました。お友達が語るCさんの姿は、いつもいつも自分の持っているものを人にあげてしまう方でした。そのようなCさんに最後まで寄り添ったお二人の関係性

に、頭が下がる思いでした。今年もまた、新しい入居者の方をお迎えしています。大切な人生の最期の時をともに過ごさせていただくことに感謝し、誠実に関わりを続けていきたいと思っています。

### 2010年の行事

1月	江戸太神楽
4月	お花見
6月	ピタウ神父来訪
7月	隅田川花火大会
8月	施餓鬼供養
11月	納骨
12月	クリスマス会

その他、定期的な行事として、毎週木曜日にティータイム、毎月2回ほど訪問散髪がありました。また、亡くなった入居者さんのお別れ会を開きました。



施餓鬼供養の様子



M  
夫  
さ  
ん  
の  
梅  
の  
花

**真**っ赤な梅の花が散って

いくのを見ると、思い出す人がいる。

きぼうのいえの玄関には梅の鉢植えがあって、春の足音が聞こえ始めると、いつもかわいい赤い花を咲かせてくれる。M夫さんは愛煙家ということもあって、天気の良い日は時折玄関先の灰皿の近くで、道行く人を眺めたり、煙草を吸ったりしていた。

M夫さんがきぼうのいえに越してきたのは、ちょうど私がきぼうのいえに通い始めた夏のころで、そのころのM夫さんの印象といえば、口数が少なく礼儀正しい静かなひと、という感じだった。食堂に出てきても特に周りと言葉を交わすこともなく、お部屋に物を届けに言っても、少し伏し目がちに、でも丁寧に「ありがとうございます」とだけ言って、それより先に会話が発展することもなかった。

入居から半年近くたって、相変わらず「寡黙な住人」と「時々顔をあわせるスタッ

フ」の関係のままだったある日、パジャマ姿のM夫さんが、玄関で腰を曲げて地面にある何かを拾っていた。

(ちなみにきぼうのいえには当時パジャマンと呼ばれる住民が何人かいて、外出する時以外は常にパジャ

マだったM夫さんはパジャマンの筆頭メンバーだった。そしてその日もやはりM夫さんは、大き目のパジャマのズボンの裾をちょっとまくり上げたいつものスタイルで玄関に立っていた。)

煙草の吸殻を落とし損ねて拾っているのかな?と思い近づいてみると、とうに煙草を吸い終わっていたM夫さんは、散った紅梅の花びらを、頭が地面につきそうなぐらいに腰をかがめて集めていた。

「わあ、梅が咲いてたんだね。昨日の雨風で散っちゃったのかな?」と声をかけると、はにかんだ笑みを浮かべてM夫さんはうつむいたまま小さくうなずいた。しばらくして、お昼ご飯だよーとお部屋に声をかけに行くと、さっき拾っていた梅の花びらが、ちんまりとお皿に並べられて飾ってあった。

入居から一年もたつと、M夫さんもきぼうのいえになれて、お昼時には、ゆっくりゆっくりご飯を食べたらこれま

たゆっくりゆっくり薬を飲みながら、人の少なくなった食堂でスタッフと談笑するようになった。よくよく話を聞いてみると、M夫さんの兄弟はM夫さんをのぞくと全員女性で、しかもM夫さんは末っ子だった。それを聞いたスタッフが「おんなばかりの兄弟の末っ子!それはもう甘えん坊と相場が決まってるな〜!」とつつくと、これまたちょっとつむき気味に、ニカ〜と満面の笑みを浮かべた。

M夫さんと出会ってかなりたってから気づいたことだったが、M夫さんにはほとんど前歯がなかった。路上生活も経験していたM夫さんだから、歯医者に通っている余裕はなかったのかもしれない。初めてニカ〜と笑顔を見せてくれた時、私は前歯がない事情を想像して切なくなるのと同時に、それまで滅多に口を開けて笑うことのなかったM夫さんが、大切な秘密をこっそり教えてくれたような、胸がほこほこする気持ちになった。

結局その後M夫さんは先生が見越していたよりもずっと長い時間をきぼうのいえで過ごし、最後にはおしゃべりが大好きな人に変身して、きぼうのいえを卒業していった。

先日もきぼうのいえへの道すがら、紅梅が濡れたアスファルトの上に散っていた。

花びらの紅と、パジャマ姿のM夫さんの背中で切り取られた早春の透明な光。この季節になると私はM夫さんのことを思い出す。

(スタッフ・きゅー)

きぼうのいえ関連書籍のご案内

生きた 愛した 歌った  
— 山谷の俳人・いざわさわ男



いざわさわ男氏近影

昨年1月にご逝去された、元・きぼうのいえ入居者のいざわさわ男氏の本が3月末に出版されることになりました。

内容…真心のうたびと（巻頭言）／俳句・詩歌／宮下さんへの書簡／山谷文芸誌「なかま」／追悼文集

● ご希望の方は、振り込み用紙に「いざわさわ男、本代」と明記のうえ、下記料金を郵便局からお振込みください。振り込みから10日程度でお届け致します。振替番号はこのニュースレターの最後のページをご覧ください。

後援会員:1000円／一般の方:1200円（ともに送料込み）

# 金曜日午後、4F談話室の風景

BARBER & PIANO



▲大通りから、そして屋上からスカイツリーが見えます。



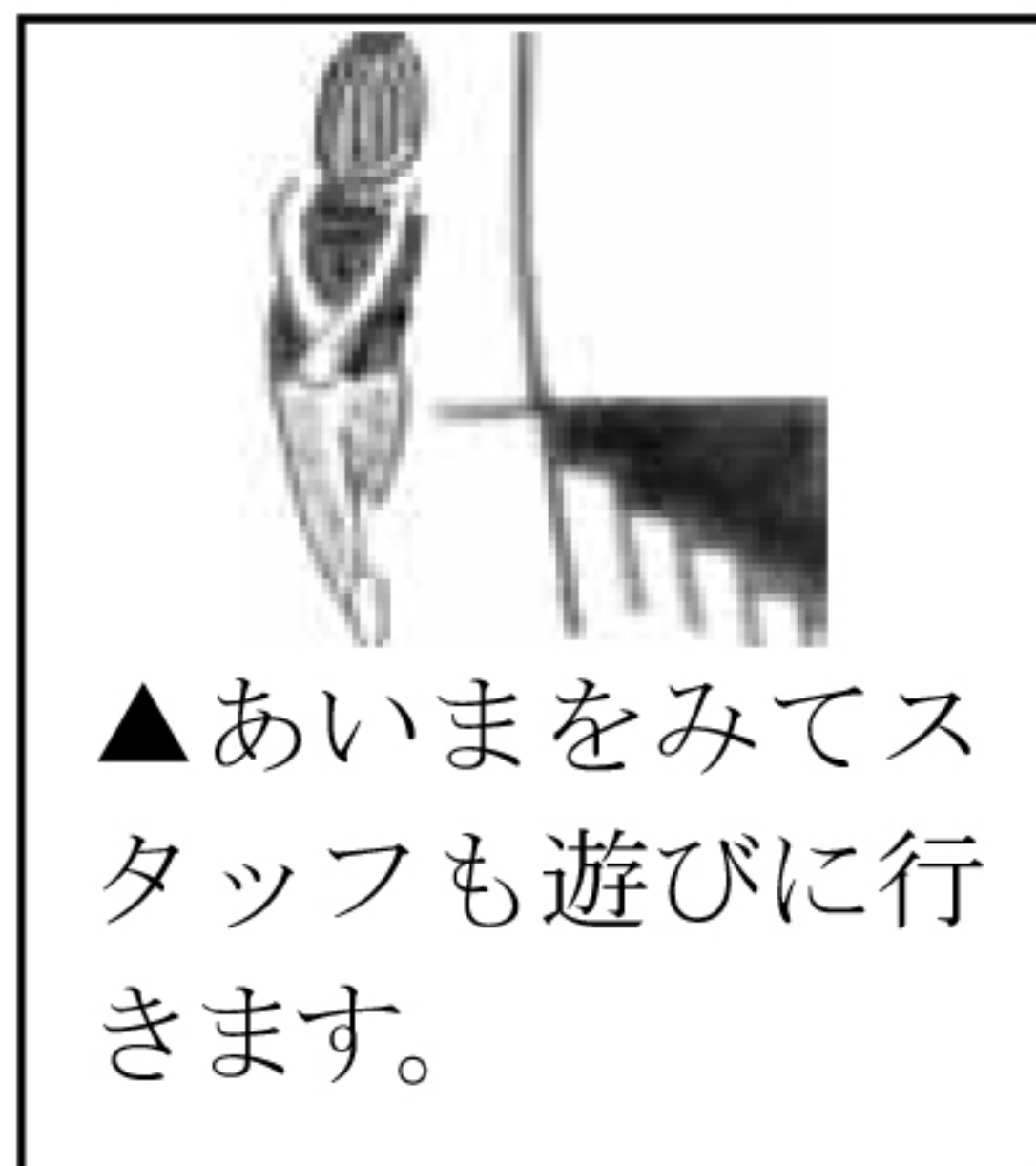
▲ピアノの先生はリクエストに応じて何でも弾いてくれます。歌つきで。最近は演歌が多いです。



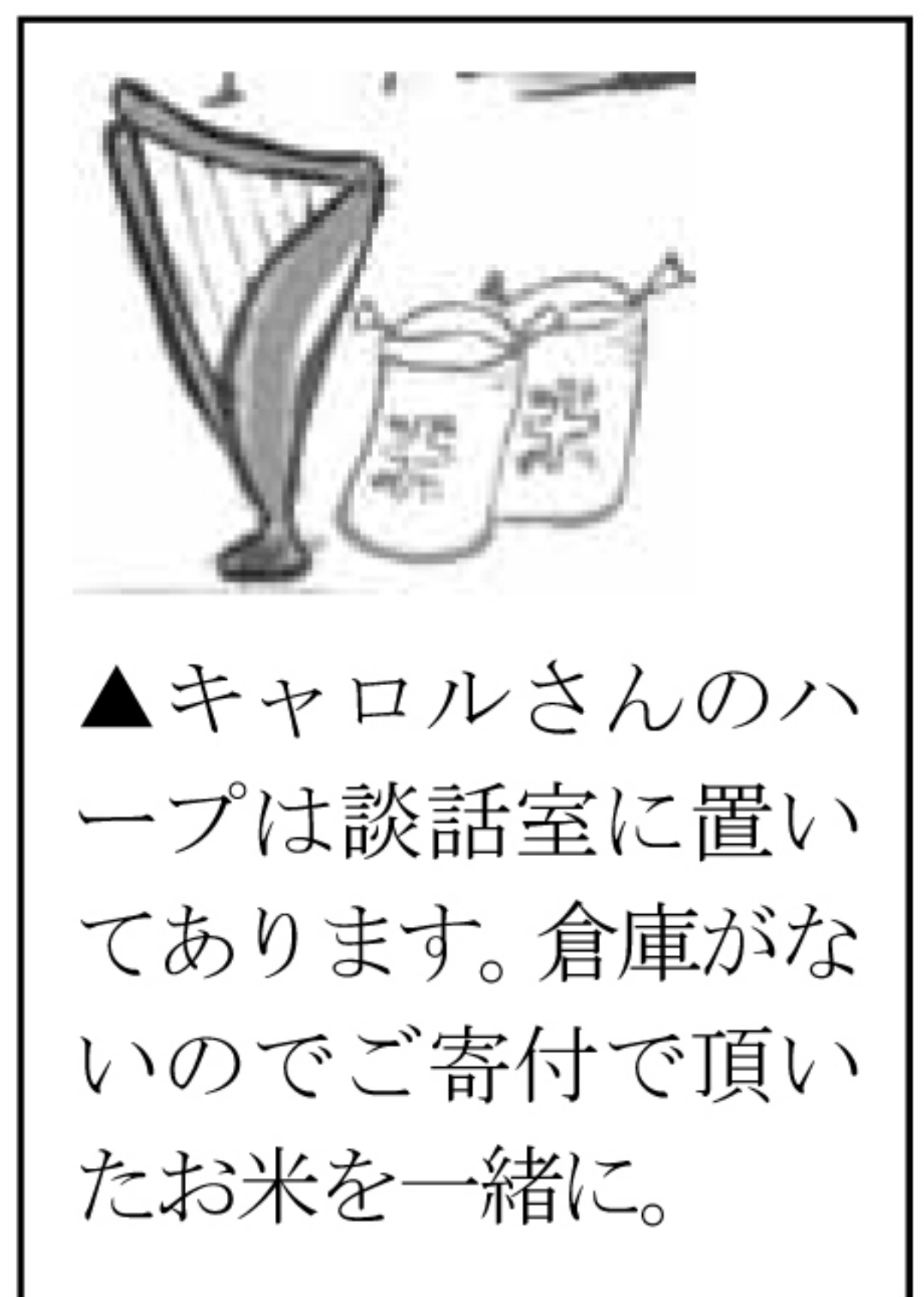
▲散髪屋さんは入居者さんの髪の毛を虫メガネで見ながら丁寧に刈ってくれます。ときどき各部屋まで出張も。



▲タバコは談話室で吸ってください。



▲あいまをみてスタッフも遊びに行きます。



▲キャロルさんのハープは談話室に置いてあります。倉庫がないのでご寄付で頂いたお米と一緒に。



### 多大なご支援に感謝

本年度は表のとおりのご支援を賜りました。深く感謝し、大切に使用させていただきます。来年度は地テジとスプリンクラーを導入しなければならないので、今後とも変わらぬご支援を頂ければ幸いです。

科目	金額	年度	合計
個人会員	¥871,000	平成17年度	¥5,081,958
法人会員	¥90,000	平成18年度	¥10,081,937
月約会員	¥1,170,000	平成19年度	¥28,596,354
一般寄付	¥40,576,332	平成20年度	¥37,026,881
教会寄付	¥1,598,852	平成21年度	¥49,141,036
<b>合計</b>	<b>¥44,306,184</b>	平成22年度(～2月)	<b>¥44,306,184</b>

## 施設長からのお知らせ

日頃よりきぼうのいえをご支援くださる後援会会員の皆さまには、心よりお礼を申し上げます。きぼうのいえは、皆さま方のご支援なしには到底継続して運営することは不可能です。きぼうのいえのケアの質を高く保つためにも、熟練したケアの感性を身に付けたスタッフが不可欠で、そうしたマンパワー維持のためにも、皆さま方のご支援が欠かせません。

発足当初は「無謀のいえ」と揶揄されたこともありましたが、現在は、人々に希望を抱いていただく「きぼうのいえ」として定着し、地域への根付きも強固になりつつあります。今後とも引き続き、「きぼうのいえ」を愛し、育てていただけますよう、謹んでお願い申し上げます。

ここで皆様に残念なご報告をさせていただきます。きぼうのいえの看護主任として、また女将として務めて参りました山本美恵は、この度、一身上の理由をもちまして当法人を退職いたしました。これまでお支え下さった皆さまに心よりお詫びし、また感謝を申し上げます。

なお、施設長山本雅基は、これまで同様、同職位にて、献身してまいります。スタッフ、ボランティア各位も同様でございます。きぼうのいえのケアの質を今後とも維持していけるよう尽力いたしますので、どうぞご厚情を賜りますよう、お願い申し上げます。

きぼうのいえ施設長 山本雅基

### ご寄付のお願い

きぼうのいえでは私どもの活動にご賛同頂ける皆様方にご支援・ご寄付をお願いしています。振り込み方法は①郵便振替、②銀行振込み、③インターネット募金の3つがあります。ご協力頂けますよう、お願い申し上げます。すでにお振り込み頂いた方には重複しましたことをお詫び致します。

#### ① 郵便振替の場合

- ♥ 郵便振替番号：  
00190-6-388670
- ♥ 名義：きぼうのいえ後援会

#### ② 銀行振込の場合

- ♥ みずほ銀行 三ノ輪支店 普通  
口座番号：1284037
- ♥ 名義：特定非営利活動法人  
きぼうのいえ
- ※ 銀行振込の方で領収書が必要な方はメール等で連絡先をお知らせ下さい。

#### ③ インターネット募金

- ※ ホームページからアクセスして、カード決済することもできます。

<http://www.kibounoie.info/index.html>

#### 編集後記

原点に帰って手作り感あるニューズレターを、ということでイラストなどを掲載しました。いかがだったでしょうか。できれば秋号も出したいので、ぜひご感想をお聞かせ下さい。(S)